

同和問題はみんなの問題

昨年、セミナーなどで井上泰子さんの詩「お姉さん」を紹介してきました。井上さんは、実際に結婚差別を受けた経験がある人で、その井上さんと連絡を取り合い10月に大阪で会うことができました。初対面でしたが、詩の紹介をしていたこともあり、初めてとは思えなくて旧友に会ったような懐かしい感じがしました。多久に来られた時には、ぜひ会いましょうと約束をしました。みなさんにも、井上さんの思いを届けたいと思っています。(市報多久平成29年9月号参照)

さて、私は、昨年の4月から多久市社会教育指導員として勤め、同和問題の研修を受け、改めて深く考えさせられました。また、講師と

社会教育指導員 木村 博重

して、セミナーや区長会、分館長会などで、同和問題を正しく「知る」ことは、「差別をしない」ことになり、「差別は誰も幸せにしない」という内容で話をしてきました。セミナーの受講者からは「偏見や差別をなくすこと、人権感覚を磨くことの大切さがわかった」とか「同和問題は人権問題であること、みんなの問題であることを改めて感じました」などの感想をいただきました。今年度も講師を招いてのセミナーや社会教育指導員による出前講座を開催します。同和問題は、みんなの問題です。差別や偏見をなくし、自分の問題として考えることが大切です。

市交際費の支出状況

平成30年2月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔 慰	今月分	1	5,000
	累計	49	161,400
見 舞 い	今月分	0	0
	累計	2	20,000
御 祝	今月分	1	3,400
	累計	43	195,800
賛 助	今月分	0	0
	累計	2	9,000
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接 遇	今月分	2	2,240
	累計	17	108,332
会 費	今月分	3	14,000
	累計	55	223,500
その他	今月分	1	3,400
	累計	3	10,200
合 計	今月分	8	28,040
	累計	171	728,232

◎くわしくは市のホームページに掲載しています。

問い合わせ 総務課 秘書係
☎75-2115

連載

Message for citizen



市長のららら



市長 横尾 俊彦

今年、明治150年です。薩長土肥(薩摩・鹿兒島・長州・山口・土佐)高知・肥前・佐賀)4県では明治維新150年の取り組みがあり、「肥前さが幕末維新博覧会」は来年1月まで開催です。

当時の藩主・鍋島閑叟(かんそう。直正の号)公の先見性や先人の活躍が光ります。閑叟や大隈重信、副島種臣、大木喬任、江藤新平、佐野常民、島義勇の七賢人はじめ佐賀県ゆかりの先人顕彰も含め、25人のモニユメントが佐賀市の中央大通りに設置されました。

多久ゆかりの人物は志田林三郎博士です。幼くして父を失い、母の饅頭売りを手伝い、数学に優れた才能が多久藩(邑)幹部に知られ、東原庵舎で学べることとなり、才能が開花します。

藩命で明治5年に工部省工学寮(10年に工部大学校。後に東京大学工学部)に入学。電信科を首席卒業し、日本初の工学士となります。明治13年に当時の世界最高学府の英国グラスゴー大学でウィリアム・トムソン(ケルビン卿)のもとで学び最

明治150年と志田林三郎博士

優秀のクレランド金賞を受け、英国郵便事業も現地視察。帰国後は工部省電信局で働きつつ帝国大学教授として励み、明治21年に日本人初の工学博士となり、工部大学校(東京大学工学部)初の日本人学部長となります。さらに通信省(後の郵政省)設置や日本郵便事業、電気学会創設にも尽力。明治21年6月に電気学会の第一回通常会で「将来可能となるであろう10余のエレクトロニクス技術予測」を講演し、100年後のICT社会を予見しました。このうち9は実現され、残り1つは磁場変化による地震予知で、いずれ実現されるでしょう。

しかし、明治25年に36歳で逝去。もつと存命ならアップル社のジョブズ氏やマイクロソフト社のゲイツ氏を凌ぐ活躍をしたとも考えられます。

このほか多久には、石炭王の高取伊好、法律編纂に尽力した鶴田皓、藩校弘道館教授の草場佩川などの先覚者がいます。維新期の志士たちの生き様や志、歴史に学びたいものです。